

デンハーグにあるピネンホフ（国会議事堂）のほど近く、大教会のすぐ横に Nutshuis という場所がある。ここはかつて銀行だった美しい建物をリノベーションしたところで、現在は音楽や映像あるいはシンポジウムなど文化活動のための会場として使われている。

僕はこの Nutshuis で三月下旬から二週間にわたって、メインホール全体を使った展示『LIFE AREA』をする予定だ。

東京在住の美術作家、須釜陽一との共同制作。オランダ各地から集めたいくつものロッカーが傾いて一列に立ち並ぶ空間。



会場に流れる音は僕がいろいろな場所で録音した音素材を加えたもので、展示中朝から夕方までの大きな周期で少しずつ変化していくことになる。

僕は五年ほど前から EARTH

MOVE という名前でいろいろな分野の芸術家達と活動を行ってきた。アニメーション、陶磁楽器、ダンス、音楽劇などの作品制作や、ワークショップ、フィルム上映会やトークイベントの企画など、ジャンルも世代も超えてアートを楽しもうとする人達と取り組んできたものだ。

そして今回の『LIFE AREA』もそのプロジェクトの一つとして企画された。須釜陽一とはこれまでにもパフォーマンス【SHOW CASE】(2005) や舞台作品【もうひとつの時代】(2006) など関わってきたのだが、今回は日本とオランダで連絡を取り合いながらの制作で、僕たちにとっても大きな挑戦である。それぞれ違う場所で暮らしながら感じ考えたことを交感するなかで作品のあるべき姿をつかみ取っていく。四〇〇年前には海を渡るゆくりとした交流だった二つの国の間で、メールやインターネット電話など情報インフラの発達に感謝しながら準備を進めている。

ベッドやロッカーなど日常の暮らしの中にあるものに手を加えることで自分の表現要素へと変容させる須釜は、若い頃の長期にわたる闘病の経験から「生と死」に対して深く考えるようになった。LIFE AREA には「生活圏」とともに「命の範囲」という意味も込めてある。

経済や環境など様々なレベルで大きな変化を迎えている時代とはいえ、人間の営みの本質は太古からそれほど変わっていないのではないだろうか。人はより良く生きようとする。しかし、そんな個人の意志はどこまで及ぶのか。どうしようもない日常をちよつとは笑って過ごしたい。どこにそんな希望の窓を開けるのか。閉じた扉を開くのか。つまりまききそうになりながら次の命へバトンを渡す。外の世界が見たい。テレビでニュースは見れるけど、ネットで遠くの村の音も聞けるけど、すぐ隣の人たちとちゃんと繋がっているだろうか。自分に嘘をつかず、愛することを恐れずに、自分なりの方法で生きたいのだ。

二〇〇六年に初めてヨーロッパへ来たとき、イギリスでもドイツでもなくて、なんだか分からないけどオランダなら上手くやっついていけそうな気がした。だいたいそういう土地の声は聞いておいた方がいい。手続とかいいかげんなオランダは嫌いだけど、すぐ道にゴミを捨てたり、急に雨が降り出すオランダは嫌いだけれど、ここには多様性を抱きしめる力がある。ここには新しさを恐れない好奇心がある。そんな加減は、僕にはなかなか良い加減だ。

橋本知久 (Tomohisa Hashimoto)

橋本知久 (Tomohisa Hashimoto)

1981年名古屋市出身。作曲家、演出家。音楽をその中心に据えながら、ダンスや演劇、映像といった時間の中でできあがる表現のありように深い関心を寄せる。

03年から継続している活動 EARTH MOVE では分野・地域・世代を越えた多領域の表現者たちとともに創作を行う。05年に(財)愛銀教育文化財団より「多分野を統合する活動」に対して助成を受けた。

06年愛知県立芸術大学音楽学部を卒業後、07年からハーグ王立音楽院で学んでいる。

作曲を北爪道夫、寺井尚行、可知奈尾子、ヒリウス・ファン・ベルヘイク、コーネリス・デ・ボント、ヤニス・キリアキデスの各氏に師事。ダンスをジョアン・ファン・デル・マスト他に師事。

TOMOTONE <http://www.ne.jp/asahi/tomo9/art/>



2009年3月～5月オランダ在住日本人アーティスト活動情報

展示『LIFE AREA』

3月26日～4月3日 10:00～17:00 (土日休み)

Het Nutshuis I (Den Haag)

ハーグ王立音楽院の作曲家の学生・橋本知久と、美術作家・須釜陽一の

コラボレーション

入場無料

Het Residentie Orkest コンサート

子供のための「マタイ受難曲」俳優による舞台付き

3月27日(金) 19:30、28日(土) 18:00、19:30、29日(日) 14:00、

15:45 Nationale Toneel(Den Haag)

「マタイ受難曲全曲」

4月9日(木)、10日(金) 19:00 Dr. Antonphilipszaal (Den Haag)

「女王の日コンサート」

4月30日(木) 20:15 Dr. Antonphilipszaal (Den Haag)

第二コンサートマスターとしてヴァイオリンの野口桃子が活躍中です。

お問い合わせ：<http://www.residentieorkest.nl>

Honey Crypto

アムステルダム在住の振付家・ダンサー楠田健造による最新作公演。消えていくものだけが放出する強烈なエネルギーに衝き動かされるように交錯する男女4人のダンサー達。地平線の彼方に向かって、とてつもないスピードでしかしゆっくりと、垂れ落ちていく太陽のしずく、そのマグネティックな生命力に想を得たコンテンポラリーダンスパフォーマンスです。

4月2日(木)～4月4日(土) 20:30 Melkweg Theater(Amsterdam)

4月16日(木) 20:30 Theater Lantaren/Venster(Rotterdam)

4月21日(火) 20:30 Scala Theater(Helmond)

5月13日(水) 20時30分 Theater de NWE Vorst(Tilburg)

5月14日(木) 20時30分 't Kruithuis(Groningen)